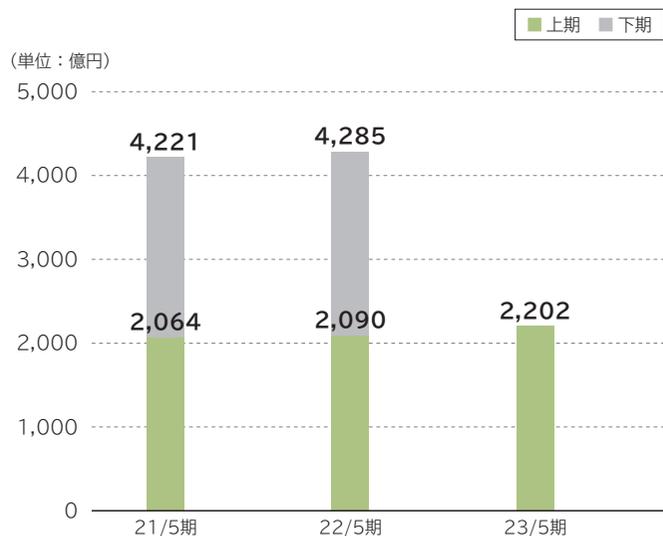


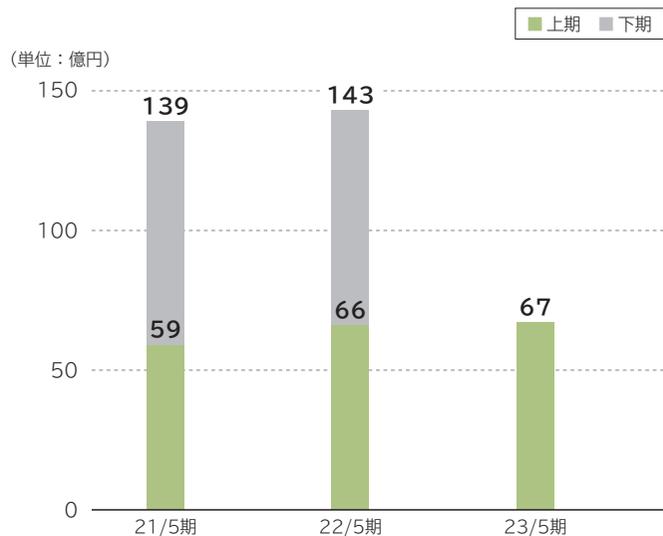
◆ 業績ハイライト

売上高（連結）



※23/5期 上期の売上高は過去最高を更新

営業利益（連結）



※23/5期 上期の営業利益は過去最高を更新

◆ 株主メモ

お取引窓口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店

特別口座管理機関お取扱店 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031
(土・日・祝日および12/31-1/3を除く9:00~17:00)

未払配当金のお支払窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

株主優待制度 100株以上保有の株主様を対象に、「LOHACO」2,000円分(500円×4枚)割引クーポンを1年に2回お送りします。クーポンの獲得と利用にはインターネット環境が必要です。

◆ 配当の状況

	中間	期末	年間合計
2021年5月期	19円	30円	49円
2022年5月期	15円	16円	31円
2023年5月期	16円	16円(予想)	32円(予想)

※2021年5月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年5月期については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

◆ 会社概要

商号 アスクル株式会社
本社 〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-3
豊洲キュービックガーデン
TEL 03-4330-5001(代表)

会社URL <https://www.askul.co.jp/kaisya/>

創業 1993年3月

資本金 21,189百万円(2022年11月20日現在)

事業内容 ・事業所向け通販事業(BtoB事業)
・個人向けインターネット通販事業LOHACO(BtoC事業)

事業年度 5月21日～翌年5月20日

主な連結子会社 ASKUL LOGIST株式会社
株式会社アルファパーチェス
ソロエル株式会社
株式会社チャーム
孺恋銘水株式会社
ビジネススマート株式会社

従業員数 3,379名(2022年11月20日現在、連結ベース)

お問い合わせ先 コーポレート本部 コーポレートコミュニケーション IR
TEL 03-4330-5130
Eメール ir@askul.com

株主のみなさまへ

第2四半期決算 レポート 2023年5月期



仕事場とくらしと地球の明日に「うれしい」を届け続ける。

100株以上保有の株主様には
別途1月下旬に株主優待を
お送りいたします



証券コード
2678

◆株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、パーパス(存在意義)である“仕事場とくらしと地球の明日(あす)に「うれしい」を届け続ける。”の実現に向け、着実な進化を続けております。

BtoB事業においては、中期経営計画の2年目である今期を「成長カーブを変える」年と位置づけ、着実に戦略を推進しております。重要施策の一つである新ASKUL Webサイトは、2022年7月末に一部機能の先行リリースが完了し、堅調に成長率が向上しております。引き続きBtoB事業の中長期的な成長の礎として、必要な商品を探しやすく買いやすい売り場を目指してまいります。また、当社の東日本の基幹センターと位置づけている新物流センター「ASKUL東京DC」も予定どおり2022年11月に稼働を開始いたしました。

一般消費者向けのLOHACOは、「くらしをラクに楽しく」をミッションに、利便性とサステナビリティを兼ね備えた独自価値商品の開発に注力しております。数年来の収益構造改革は確実に成果として表れており、目標としていた今期の黒字化達成も視野に入っております。Zホールディングスとの連携を強化しながら、今後は再成長のステージを目指してまいります。

中期経営計画の基本方針としてサステナブル経営を掲げておりますとおり、環境課題の解決とビジネスを両立させる取り組みも引き続き強化しており、「ASKULを使う事が最も便利で最も社会課題解決に貢献する」とお客様から選ばれる企業でありたいと考えています。お客様や取引先と共創し、「ASKUL資源循環プラットフォーム」の構築、商品の環境配慮レベルを独自にスコア化し公表することでお客様が環境配慮視点で商品を選びやすくなるような取り組みなどを着実に進めてまいります。

中期経営計画のテーマである「オフィス通販からのトランスフォーメーション」を着実に進め、「仕事場とくらしと地球」に「うれしい」を届け続け、中長期的な利益成長と企業価値向上を実現してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月吉日

ASKUL株式会社
代表取締役社長 CEO
吉岡 晃



トピックス

●初の統合報告書「ASKUL Report 2022」を発行



2022年11月、初の統合報告書「ASKUL Report 2022」を発行いたしました。本報告書は、“仕事場とくらしと地球の明日(あす)に「うれしい」を届け続ける。”をパーパス

(存在意義)に掲げる当社の中長期的な価値創造について、財務・非財務の両面から、株主・投資家をはじめとしたすべてのステークホルダーに向けて伝えることを目的としています。当社の挑戦と進化の歴史や、当社の強みを活かして実現していく「エシカルeコマース」、これらを支える経営基盤などについてご説明しております。今後も、中長期的価値創造に向けた取り組みと内容の一層の充実に向けてまいります。株主の皆様にご高覧いただければ幸いです。

https://www.askul.co.jp/kaisya/ir/library/integrated_report/

●東日本最先端フラッグシップセンター「ASKUL東京DC」が稼働開始

2022年11月、中期経営計画で掲げたBtoB事業の大きな成長を支えるため、東京都江戸川区に10拠点目のセンターとして開設した「ASKUL東京DC(ディストリビューションセンター)」が稼働開始いたしました。

ASKUL東京DCは東日本の最先端フラッグシップセンターとして、首都圏のお客様へのスピーディな出荷配送を実現するため、首都高速ICに近くアクセスしやすい好立地に開設いたしました。限られた庫内の空間を最大限に活用するため、4階・5階部分をワンフロアに貫きその最大の高さまでの自動倉庫を導入した高密度設計や、同一方面の荷物の重さ・大きさ順に連続で荷物を出庫す

るシャトルシステムの初採用などを特徴としており、ASKULがこれまで培ってきた知見や最新技術を最大限活用した物流センターとして、高い生産性を実現してまいります。



●中小企業のDX推進をトータルサポートする事業「ビズらく」を開始

2022年10月、物販以外の新領域へチャレンジする新たなデジタルソリューションビジネス「ビズらく」を開始いたしました。ASKULの顧客基盤の多くを占める中小企業では、テレワーク環境の整備や人手不足、法改正に対応するためのデジタル化のニーズが高まっている一方で、約6割の企業では「社内にITの担当者が不在である」という課題を抱えているのが現状です。

「ビズらく」では、中小企業のデジタル化に必要なデジタルソリューションと通信商品などを取りそろえるとともに、中小企業のお客様のお困りごとの相談を受けてニーズに合った課題解決商品をご提案し、商品をお試しいただくプロセスを経て、導入とその後の運用をご支

援するワンストップサービスをご提供します。「ビズらく」は、中小企業が抱えるお悩みをデジタルの力で解決することを目指してまいります。

